

インフルエンザの流行前に予防接種を受けましょう！

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こります。普通の風邪に比べて症状が強く、気管支炎や肺炎などを合併し、重症化することもあります。予防の基本は、うがい・手洗いと流行する前に予防接種を受けることです。ワクチン接種によって、インフルエンザにかかりにくくなり、たとえかかっても症状の重症化を抑えることができます。

高齢者インフルエンザ予防接種がはじまります。

市では、満65歳以上の高齢者の方を対象に、インフルエンザワクチン接種の助成を実施します。予防接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力がつくまでに2週間かかり、その効果が十分に持続する期間は約5か月間とされています。インフルエンザが流行する前の12月中旬までに接種を受けておくことをおすすめします。

- ◆ 期 間／10月15日(火)～平成26年1月31日(金)
- ◆ 対象者／市内に住民登録がある方で接種を希望される次の方
接種日に①満65歳以上の方
②満60歳～65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障がいや身体障がい1級に相当する方(接種時に身体障がい者手帳を持参)
- ◆ 接種方法／医療機関に事前に予約をして、接種してください。
- ◆ 個人負担金／1,500円(医療機関でお支払いください)
次のいずれかに該当する場合は、申請により個人負担金が免除になります。
①生活保護法による被保護世帯の方 ②平成25年度の市民税が非課税世帯の方
- ◆ 持参するもの／①健康保険証(または後期高齢者医療証) ②めがね(必要な方)
*予診票・説明書は、健康増進課・各支所(市民福祉課・市民サービス課・健康福祉課)及び実施医療機関にあります。
- ◆ おたずね／健康増進課 ☎21-6829



無料でも魅力的です。グループは、子どもたちにとっても魅力的です。グループは、子どもたちにとっても魅力的です。グループは、子どもたちにとっても魅力的です。



情報モラル教育の一環として、中学生向けに「身の回りに潜むネットの危険性」について、講話をしていただきました。

最近、子どもたちの生活で気になることがあります。スマホ等を媒体とする情報モラルがあまりにも低すぎるのです。近年、情報化が進むと同時に情報機器の進歩には、めまぐるしいものがあります。そのお陰で便利な世の中となり、手元操作一つでいろいろなアプリを活用しながら世界中に情報発信ができた、交流ができたようになります。しかし、いいことばかりではなく、世間にはそれを悪用しようとする人もいます。経験豊富な大人でさえ、うっかり利用される例が多くあります。未熟な子どもたちの場合、トラブルに巻き込まれる可能性は一層高くなります。その一例に、無料で利用できるアプリの存在があります。子どもたちにとって無料サイトは、とても魅力的です。グループは、子どもたちにとっても魅力的です。

情報モラルは大丈夫ですか？

えがおになあれ
39

子どもたちが明るく元気に育つのを
見ると、未来に希望を感じます。
毎日を心豊かに過ごし、子どもも大人も、「えがおになあれ」…そんな願いを
込めて、このコーナーを設けました。
(出雲市要保護児童対策地域協議会)

要保護児童対策地域協議会は、子どもが健やかに育つよう社会のさまざまな機関が子育て中の家庭を見守り、必要に応じて支援し、児童虐待等のない社会を目指すために組織したものです。

ブをつくり内輪で情報交換するサイトは、時には誹謗中傷の場となり、トラブルを度々生み出しています。また、誰かが他のグループに個人情報を流せば、そこからデータや画像が限りなく広がっていき、悪用されることもあります。想像してみれば、恐ろしいことです。さらに、さまざまな紹介サイトにアクセスしてインターネット上で交流する場合は、相手の顔や実体が見えないだけでなく、なりすましの危険性もあります。実際に誰と交流しているのかを十分意識し、正体不明の相手であることに気付かなければなりません。

このように、情報社会には落とし穴がたくさんあります。その恐ろしさを知らない子どもたちが、誘惑の魔の手を、夢のような世界と錯覚してしまっていることに大きな危険を感じています。

子どもにスマホを与える場合は、正しい使い方と同時に常にリスクを抱えていることについて、しっかり伝える責任があることを、私たち大人は自覚していきたいものです。

- (※1) スマホ…スマートフォン。個人用の携帯コンピュータの機能を併せ持った携帯電話。
- (※2) アプリ…「アプリ」はアプリケーション(ソフト)を短くした言葉で、スマホで利用するソフトウェア全般。
- (※3) サイト…ウェブサイトを短くした言葉で、1冊の本のように、ひとまとまりに公開されているウェブページ群。また、そのウェブページ群が置かれているインターネット上の場所。

おたずね／子育て支援課 ☎21-66004

平成25年度 ミニ企画展

出雲を掘る 第4話

「銭(じえね)―出雲のじえねを考古学する―」

観覧無料



市内出土の銭

10月26日(土)～平成26年1月20日(月)

◆会場 / 2階 企画展示室

出雲に暮らしていた人々と銭との関わりに迫ります。

【展示品】市内出土の古代から近世までの古銭、写真パネルなど

関連講演会 『出土銭の世界(仮)』

受講無料

10月27日(日) 14時～16時 講師: 櫻木晋一氏(下関市立大学教授)

◆会場 / たいけん学習室 ◆定員 / 80名
※電話、ファクス、電子メールなどで申し込みください。

速報展 斐川中央工業団地内 平成24年度発掘成果

観覧無料

開催中～10月28日(月)まで

◆会場 / 1階

弥生土器▶

平成24年7月から丘陵地と平坦部の調査を行っています。そのなかで、古墳時代後期の横穴墓群15基などを確認。出土した遺物(土器)やパネルを展示します。



展示 『出雲市の指定文化財』

好評開催中

佐田町八幡原「岩崎家文書」

【ギャラリートーク】

観覧無料

10月6日(日) 11時～、14時～

今年7月に市の指定文化財となった「岩崎家文書」。古文書専門の職員による、ギャラリートークを開催します。



出雲弥生の森博物館

開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
休館日 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

〒693-0011 出雲市大津町2760

☎25-1841 FAX 21-6617

http://www.city.izumo.shimane.jp/yayoinomori

よすみちゃん



荒神谷博物館情報

平成25年度 荒神谷博物館企画展

【謎の大型土器登場！ ～弥生時代のコシキ形土器とは～】

開催中～11月4日(月・振休)

米を蒸す「こしき」にその形が似ていることから、「コシキ」形土器と呼ばれますが、高さ約70cmを超える大形のものもあり、研究者の間では、使い方についての考え方が一致しないことなど、たくさんの謎を秘めています。

今回、出土の中心となる島根・鳥取・広島県内の「コシキ」形土器を一堂に紹介し、その大きさや形などを参考にして、皆さんと一緒に、この土器の使用方法について考えてみたいと思います。

島根県下出土の
コシキ形土器



ホール展示

観覧無料

講演会

パネル展示

『出雲の石神さんⅡ』

10月5日(土)～
11月10日(日)

『宗像沖ノ島の巨岩信仰』

10月6日(日) 10時～
講師: 小田富士雄氏(福岡大学名誉教授)
◆会場 / 交流学習室 ◆資料代 / 300円

コシキ形土器談話会 10月12日(土) 9時～16時

コシキ形土器の用途について、あなたの意見を話してみませんか?
◆会場 / 交流学習室 ◆参加無料(展示室見学者対象)

■ 第98回 講演会

10月19日(土) 13時30分～15時

演題: 『山持遺跡出土品からみる他地域交流』

講師: 東山信治氏(島根県教育委員会文化財課)

資料代: 300円 申込不要

■ ゼミ形式 風土記談義

10月20日(日) 10時～

講師: 平野芳英・杉岡直子・藤岡大拙

受講料: 300円 申込不要

最新情報は
ホームページ内の
ブログや
フェイスブックを
ご覧ください！



荒神谷博物館
Archaeological Museum of Kojindani

〒699-0503 出雲市斐川町神庭873-8

☎72-9044 FAX 72-7695

http://www.kojindani.jp

